

令和3年7月30日発行



社会福祉法人 泰仁会
特別養護老人ホーム「やさと」

石岡市小倉442-1
TEL (0299) 43-0811(代)

特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」

東茨城郡茨城町桜の郷 231-7
TEL (029) 292-3900(代)

さわらび

第74号



「コロナ禍でも元気に」(桜の郷元気)

泰仁会ホームページ

泰仁会

検索



泰仁会ホームページ



やさとブログ

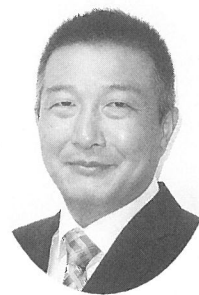


こぎつねの郷ブログ

◇ 目 次 ◇

明るい未来のために……………2	介護福祉士 合格おめでとうございます! ……6
行事紹介 特養やさと……………2	
やさと行事紹介……………3	ワクチン接種終了! ……6
有 事……………4	地域貢献活動……………6
「ひたちの長岡 邁進中!」……………5	編集後記……………6
自立度向上を目指して……………5	

明るい未来のために



施設長 高城 裕

新たな働き方が進む中、介護業界も変化しています。

介護保険制度が施行されてから七度目の介護報酬改定となりました。ポイントとなるのが、科学的根拠に基づいた介護が具体的にカタチになることです。サービスの質の評価やデータを活用しながら、質の高いサービスの提供を推進していく前進の改定と考えます。

また、感染症対策では、けっして気を緩めることの出来ない状況が続いており、施設の管理運営において、新型コロナウイルスによる影響は極めて大きいです。

明るい兆しとなったワクチン接種も遅れていますが、少しでも早まることを期待したいです。

そんな状況下において、介護現場を守っている職員の方々には、我慢の生活を続けていただき、今日まで感染防止できていることを心から感謝いたします。引き続き、この困難を乗り越えるためにも、部署間の連携はもちろんのこと、職員一人ひとりが、エッセンシャルワーカーとして誇りと自覚をもって、ご利用者が最後まで自分らしく暮らしていただけるよう

共に支えていきたいと考えています。

令和二年度は、地域ニーズに応えるべく念願であった「特養やさ」と三十増床を六月に開設し、入居定員数八十名となりました。

新たな組織体制となり、初心を大切にし、介護の基本を実践してきましたが、自立支援の充実および基本的ケアの確立に向けた取り組みは十分とまではいかず、多くの課題を残しました。私自身、「方針や考えを理解し実行しているだろう」という甘えがありました。

改めて、基本に立ち返り、現場を立て直す思いで臨みます。何より、提供されているサービスをより良いものへと進化させていくこと、職員の目指すべき方向を統一して、取り組むために、行動指針を明示し、サービス提供はもちろんのこと指導育成も含め、共通ルールを徹底していきます。

少子高齢化によって、国内における労働力の減少、人材不足が深刻化しています。「採用力の強化」と「離職率の低下」の視点から課題に取り組まなければなりません。そこで、職員が採用から定年退職するまで、人として成長することができ、元気に働くことのできる環境を整備していくこと「職員を大切にす」想いで取り組めます。

令和三年度も法人理念である「あつてよかつた いてよかつた」を基盤とした経営理念・運営方針の実現に共に取り組んでいきましょう。

特養やさと



七夕用の短冊を作成中



みんなで日光浴



春のお散歩

デイサービスやさと



早く焼けないかな～



綱引き大会!

グループホームさわらび

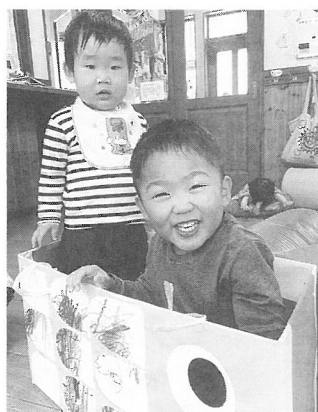


収穫が楽しみです



うまかつくれるかな?

こぎつねの郷

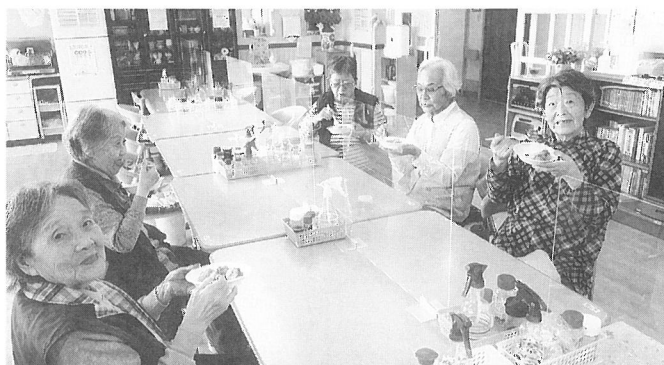


国府あおい

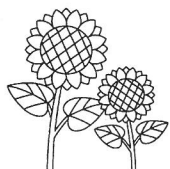


さくらもち(風?)づくり

ケアハウスやさと



月に一度の喫茶コーナー



有事



元氣 永
郷 山
の 施 設
桜 永

東京オリンピック・パラリンピック開催までのカウントダウンが始まっています。本当に開催できるのか。対策は万全なのか。観客は入れるのか。入れないのか。毎日、このような議論がテレビやラジオから流れています。通勤途中の車内で聴いています。FMラジオでは、とある県の新型コロナウイルス対策課が、県民に「マスク・手洗い・うがい」に加えて、「密をつくらない・避けましよう」と対策を強く訴えていた直後に、スポンサーであるレジャーランドらしき会社のコマーションが流れました。「新しいアトラクションをご用意しました。物凄い興奮です。県民のみなさん、積極的にお出かけくだ

さい。お待ちしています。」と。もちろん悪気があるわけはありません。ただ、こんなところに「人」は気の緩みが出るのでしょうか。わたしたち桜の郷元気においても、接種を希望した入居者のみなさま・スタッフ全てに、合計二回のワクチン接種が終了しました。一定の効果は期待できるものの、対策には気を抜かず運営をしていくつもりです。多くの高齢のみなさまの尊い命をお預かりしている事を決して忘れません。桜の郷元気では、各介護サービスをご利用されるみなさま方に、アンケート調査を実施しています。令和2年度に実施した、アンケート調査の回答欄に、次のような励ましのメッセージが記載されておりました。「コロナ禍において職員皆さまのガンバリに感謝しております。いつまで続くかわかりませんが終息する事を信じて頑張ってください。どうぞ皆さまも健康には留意してください。」

「これからの感染症は絶対出さない施設であってほしい。他施設の目標になってほしい。皆さんの努力と団結に敬服致します。一日も早く入居者の外出や面会ができるようになってほしいです。元気まつりも来年は二年分、大きく盛大に出来ると思いますね。」等々、寄せられたメッセージの一言・一言に感動し感謝の思いでいっぱいです。コロナ禍で闘うスタッフ一人ひとりの「心の支え」となりました。その一方で施設管理者の私は、コロナウイルスを前に、自分は全くの無力であり、スタッフにも的確な指示も出すことができず、後手後手に回ってしま日々反省の毎日。「平時」はご家族宛てに定期的に便りを出したり、地方紙のコラム欄を連載していたこともありましたが、「有事」であるこんな時にこそ、心配されているご家族宛てに強いメッセージを出し、施設の「長」としての決意を伝えるべきであったとも思いますし、こんな時だからこそ、新聞等の媒体を通して介護施設の現状をしっかりと伝えるべきでもあったのではないかと思えます。全く手の打てないこんな私を支えてくれたのは、桜の郷元気スタッフであることとは言うまでもなく、ご家族のみなさまを始め、施設運営に関係する全てのみなさまでした。今後も叱咤激励を受けながら、桜の郷元気としてはやや弱い「地域貢献」という課題に取り組んで恩返しをしていくつもり

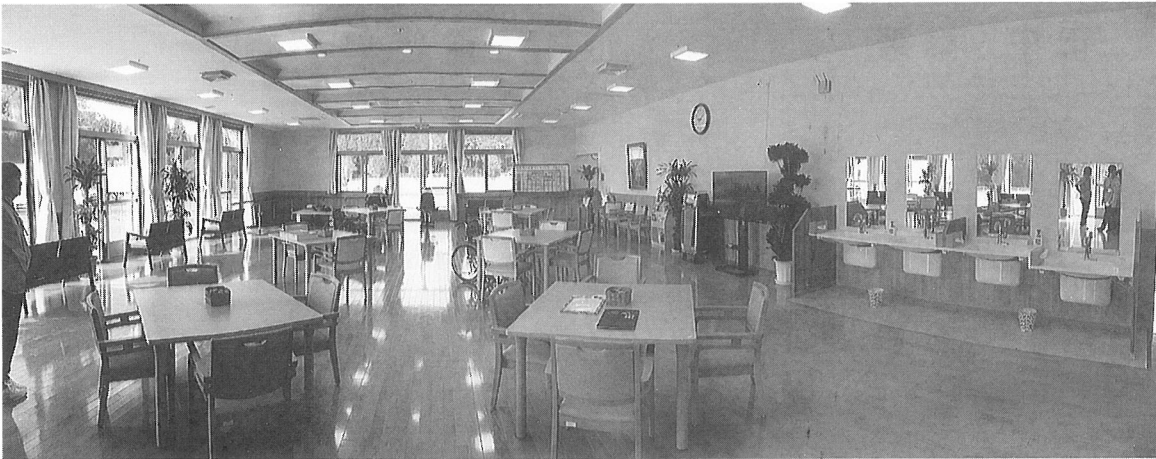
です。このコロナ禍で、感染者こそ出なかったものの影響を大きく受けた出来事もありました。EPA介護福祉士候補者として平成30年にフィリピンより入国し就労していた2名が、コロナ禍の影響で途中帰国もできずに、母国に残した生まれればかりの子供や最愛の妻や夫に会えず、ついには母国の家族より「戻ってきてほしい。」との連絡があり、あと一年で介護福祉士国家試験に挑戦することを断念し帰国しました。フィリピンに旅立つ前日に、「日本で頑張った事を忘れないでほしい。わたしたちもあなたの方を決して忘れない。」と言葉をかけたのですが、世界中の尊い命ばかりでなく、世界中の若者の夢までも奪っていく「新型コロナウイルス」には決して負けてなるものかと心に誓ったばかりです。最後に最近思うことです。30年前にこの世界に飛び込んだ時には、目の前にいる入居者・利用者しか見えなかったように思います。30年経った今見えるものは、みなさんが鏡のようであり、「自分自身の姿」がよく見えるようになってきました。施設長としていつまでも「恥ずかしくない自分」でありたいと思っています。

「ひたちの長岡 邁進中！」

桜の郷元気 ひたちの長岡も開設から一年八カ月が経過しました。あつという間に月日が経過していきま

す。新型コロナウイルス感染予防対策の中ではありますが、徐々にご利用して頂ける方も増え、令和三年二月に、デイサービスの利用定員を二十五名に増員しました。ひたちの長岡の自慢のひとつに介護経験十年以上ベテラン介護職員が多いところです。デイサービス・シヨートステイ合わせた介護職員二十人中十四人います。また、長岡のデイサービスは、定員四十名迄は増やせる面積があり(約一五〇㎡)その中でまだ二十五名なので、密になりにくい環境にあります。

シヨートステイも全室個室にトイレ付のため、感染対策には有効です。コロナ禍で心配が続く現状ですが、感染対策を徹底しながら安心してご利用頂けるようにしていきます。



自立度向上を目指して

生活支援課 課長 谷 伸一郎

桜の郷元気では、「地域と共に暮らし、地域につなげるサービスの実践」を主事業所(居宅介護支援事業所、デイサービス、シヨートステイ、入居)共通の理念として日々取り組んでいきます。この理念を達成するためにはご利用者の自立度が向上すること、すなわち自立(律)支援が私たちに求められていると思っています。実際には特別養護老人ホームについて、寝たきりの方が多く最終的には終の棲家となる場所とイメージを持たれている方が多いかもしれません。しかし、本当にすべてのご利用者が同様の状態で施設へお入りになったのでしょうか。本当は住み慣れた自宅で自分らしく暮らしたいと思っ

新結果が純粹に改善した方、そして変わらぬ重度化を予防出来た方の割合が全体の70%以上を目指し、自立(律)支援をやるからには必ず達成していきます。数字だけではなく、何よりご利用者が「自分でできることが増えた」「今年は入院せずに健康で過ごせた」「もしかしたら自宅へ戻れるかもしれない」と希望がもてるよう、桜の郷元気の強みとして自立(律)支援に取り組んで参ります。

ている方が多いはず。このご利用者の願いを叶えるためには私たちが日々行っている自立支援の成果をしっかりと検証する必要があると気づきました。そこで始まったのが桜の郷元気独自の「介護サービス検証委員会」です。この検討の場には茨城町役場の長寿福祉課の担当者様、地域代表の方にもご参加いただき、施設管理者、各サービス責任者が集い、介護保険の要介護認定の更新結果を基にケアの検証を行っています。更



介護福祉士

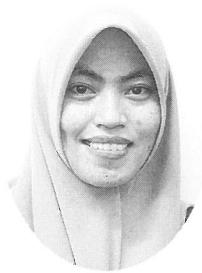
合格おめでとうございます!



田中 聡美



森作 眞由美



ウィンディ



外岡 恵子



櫻井 沙央里

ワクチン接種終了!!

新型コロナウイルスが未だに猛威を振るっておりますが、施設では入居者と職員向けに新型コロナウイルスワクチン接種を五月中旬より順次接種を行いました。ワクチンは重症化や発症を防ぐ事が期待されておりますが、稀にアナフィラキシーショックなど副反応の発生報告も出ております。

施設としても初めての予防接種であるので、ご家族様の同意を頂き、嘱託医と連携した医療体制を確保し、接種後の健康観察を行うなど、慎重に対応を進められました。

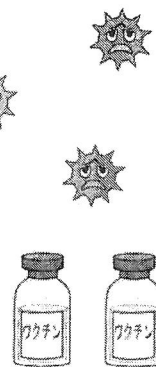
新型コロナウイルス感染症の発症

地域貢献活動

やさとは、日常生活または生活上の支援を必要とする方に対して、社会貢献活動として施設内設備の使用、車両貸出、専門職などの派遣を無料、もしくは低額な料金で福祉サービスの提供を行っております。地域における福祉ニーズや地域に不足している事項に答えられるよう取り組んで参ります。

ご希望がある場合は、やさとまでお問い合わせください。

や重症化を予防し、社会全体、施設全体での蔓延防止についても引き続き対策・行動を行ってまいります。



編集後記

これから本格的な夏になろうとしています。感染症の流行によりまだに施設ではご面会ができない状況が続いています。その中でやさと、事業所内託児所こぎつねの郷ではブログの投稿により少しでも施設内の様子をお伝えする活動を行っています。

表紙のQRコードやホームページ内のリンクからぜひご覧になってください。